

「瓦木中学校教育環境整備事業基本計画(素案)」に対するパブリックコメントの結果及び市教委の考え方について

令和元年12月10日(火)から令和2年1月15日(水)にかけて実施しました意見提出手続(パブリックコメント)について、2名から5件のご意見をいただきましたので、ご意見の概要とそれに対する西宮市教育委員会の考え方を公表します。

■ 意見提出者数および意見件数

① 提出人数

(年代別・男女別)

年代	男性	女性	未記入	計
80代	1			1
未記入		1		1
計	1	1		2

団体

個人・団体 合計
2

(居住地域別)

居住地域	件数
瓦木中学校区内	
上記中学校区以外の市内	2
合計	2

(提出方法別)

提出方法	件数
郵送	1
電子メール	1
FAX	
持参	
合計	2

② 意見件数

(意見項目別)

意見項目	件数
2章 校舎改築の基本方針	
3 改築校舎等の整備内容	1
4 学校づくりの方針	3
その他	1
合計	5

(回答分類別)

回答分類	内 容	件 数
① 素案に記載済	意見内容が既に素案に盛り込まれているもの。	0
② 意見を反映	意見内容を基に、素案の修正や追加を行ったもの。	0
③ 今後の参考・検討	素案の修正はしないが、今後事業を進める際に参考とするもの、検討していくもの。	3
④ 対応が困難	対応が困難なもの、市教委の考え方と方向性が合致しないもの。	1
⑤ その他	疑問・質問・感想・素案の内容と直接関係のないご意見など	1
合計		5

瓦木中学校教育環境整備事業基本計画(素案)へのコメント

■ 意見の概要及び市教委の考え方

意見番号	ご意見の概要	件数	西宮市教育委員会の考え方	素案ページ	回答分類
2章 校舎改築の基本方針					
3 改築校舎等の整備内容					
1	運動場の拡張に対応できるように、第3棟、第4棟の高層化から取り組むべきではないか。	1	昭和30年代に建築された校舎のうち、最も建築年数が経過し、建築様式も古い第3棟及び第2棟を改築することで、教育環境を改善するとともに施設のバリアフリー化を図る計画としています。	2	④
4 学校づくりの方針					
2	最近の災害多発に際して、学校には地域住民の避難所としての機能が要求される。予め災害対応を検討すべきではないか。	1	ご指摘のとおり、学校は地域の防災拠点であると認識しております。計画段階より防災危機管理局と協議しており、災害を想定した地域の避難所として機能の向上を図れるよう設計段階で検討してまいります。	-	③
3	学校施設には、地域に根差した総合的な多様性を持たせた施設としての機能を建設時点から検討しておくべきではないか。	1	学校は教育機関であると同時に、防災拠点、地域コミュニティの拠点等、地域の核となる公共施設です。様々な活用ができる施設となるよう設計段階で検討してまいります。	-	③
4	建物の建替えについては、今後の生徒数減少に対応可能なように、また、運動場の拡張に対応可能な設計が必要ではないか。	1	生徒数が減少した場合の対応については、施設の複合化や減築が考えられます。将来の生徒数の変動に柔軟に対応できるよう設計段階で検討してまいります。 また運動場面積については、今回の計画においては現状と変わりませんが、固定式のバスケットゴールを可動式に変更する等、限られた面積の中でも柔軟に活用できるよう設計段階で検討してまいります。	5	③
その他					
5	市内の学校間で児童生徒数の増加、減少の格差がある。瓦木中学校だけでなく、市内全体で教育環境を整えるのであれば、通学区の見直しなど、根本的な見直しが必要ではないか。	1	通学区の見直しは該当する児童生徒や保護者のみならず、様々な地域コミュニティに多大な影響を及ぼすものであること、また多くの方々のご理解を得ながら進めていくことが大切であることなどから、その実施にあたっては慎重な検討が必要と考えており、現時点では市内全体での見直しは考えておりません。	-	⑤